

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	R7 年 5月 16日 (金)
クラス名(年齢)	ぞう組(5歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

色水を作ろう

<テーマの設定理由>

春になり、色とりどりの草花に興味が出てきた。「花や草からどんな色ができるのか？」 「白い花からは白色ができるのか？」という子ども達の疑問から、色水作りを取り入れた。

2. 活動スケジュール

・前日…散歩に出かけ、草花や実を拾う ・当日…色水作りを通して、草花や色への興味を広げる

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ビニール袋 16枚・ジップロック 16枚・ミラーレスカメラ・空容器 20個 ・プラカップ 16個
--

4、探究活動の実践

<活動内容>

・散歩に出かけ、草花を拾い集める。 ・集めた草花を種類別に分けて色水を作る。 ・できた色水を比べたり、発見したことを共有する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 「白い花から白色は作れるのかな？」 「ピンク色が作りたい」と、色々な種類の 草花や木の実集めをした。  	② ビニール袋やジップロックに入れて観察する。「色が出ないね」「モミモミしたらどうかな？」と試してみる。「ピンクのツツジからピンクは出たけど、白は出ないね…」 
③ 「タンポポはすぐに色が出てきた」 「黄色がきれい！」「葉っぱからも色が出たよ」と気づいたことを教え合っていた。 	④ 色々な種類の色水を作り、同じ色の色水でも濃い順番に並べてみたり、混色をしたりと、色の変化も楽しむ姿が見られた。 

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

一人の「白い花から白い色水は作れるのかな？」という疑問から、「散歩に行って集めてこよう」「私もやる」と周りの子も興味を持ち、全体の活動へと広がった。白い花から白い色水ができなかったという結果は残念そうだったが、色への興味が広がり、比べたり、混色したりと遊びの展開も子ども達からどんどん広がった。子ども達の「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、環境の工夫や働きかけをしていく大切さを改めて感じた。クラスで栽培している藍の収穫をして、染め体験を行い、更に自然や色についての興味や関心を深めていきたい。
--